

新潟工科専門学校 シラバス（授業計画書）

科目名	ディスプレイ実習Ⅱ				
担当教員	大沼 久子		実務授業の有無	○	
対象学科	インテリアデザイン科 空間プロデュースコース	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択必修	単位数		時間数	96時間
授業概要、目的、 授業の進め方	空間の構成・演出の基礎を学ぶ。店舗等における販促計画や季節に合わせた表現をディスプレイを通して制作するトレーニングのための実習 1. 座学→プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した製作の進め方の基本を理解する。 4. 校外授業として実際の店舗ディスプレイ実習を行い、評価、解説する。				
学習目標 (到達目標)	7月に実施される商品装飾展示技能士3級、全員合格を目指す。（優秀者に贈られる新潟県表彰も視野に入れる）1年次に学んだ演出を基にさらに広げ、学内スペースを演出する。2度目となるヤマシタでのさらに完成度の高い演出をさせていただく。検定対策練習、演出の応用による習得で就業時の即戦力を目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	商品装飾展示技能士3級の過去問題（学科・実技）ファッションビジネス検定3級.2級・リテールマーケティング3級テキスト抜粋・お待たせしない実用ラッピング・POP広告制作マニュアル+オリジナル				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	検定対策 ①学科、実技の過去問の取り組み ①POPラッピングの手早い練習 ①実技課題（6月上旬公表後の徹底練習）		方法：検定問題の説明と解説し、練習課題の演習。 学科、実技とも合格基準点に達している。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。		
2	部屋のコーナー演出 ①コラージュによる部屋演出のシュミレーション ②学内スペースによる実技演出		方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の演習。 レイアウトや立体構成の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。		
3	テーマカラーの演出 ①母の日・父の日のPOPラッピング、販促ツールの作成 ②学内スペースに展示、演出 ③サイコロBOXを使い色の出し方の実技		方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。		
4	ヤマシタ 校外実習 ①店内見学→コーナー確認→備品セレクト→企画書 ②企画書を基に再現、演出→現場撮影→報告書 （コーナー演出やテーマカラーの重要性を生かす）		方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 課題の条件を把握し、計画とスケジュール管理、各技法の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
検定結果、授業態度・意欲・備品の適切な扱い。課題の完成度、グループ課題時の協調性、課題提出期日厳守、などを考慮して総合的に判断して評価する。 完成度・検定結果80% 態度・意欲10% 小テスト10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			前半は検定全員合格を目指すため、学科、実技課題ともに合格水準点を目指す。インテリアにおいて立体物の構成力は重要な要素であり、VMDの基礎をしっかりと身につけて空間演出を習得する段階的に、演習課題等を行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、個別指導を含め、十分な解説を行う。後半には、実際の店舗での実習のためマナーやスケジュール管理にも留意する。		
実務経験教員の経歴	ディスプレイ業界において、30年実務に携わる				